

令和6年度日本生化学会九州支部例会  
ポスター賞 銀賞受賞者の声

**久鍋奈海(熊本大学大学院保健学教育部 生体分子制御解析学講座)**

この度は、優秀ポスター賞銀賞を賜り、誠にありがとうございます。審査委員の先生方には感謝申し上げます。

私は今回が初めての学会参加でした。ポスター発表の序盤ではとても緊張しておりましたが時間を忘れて熱中することができました。また、多くの方々が発表を聞いてくださり大変うれしく思うとともに、たくさんのご質問をいただき新しい知見を得ることができました。今回学会に参加し、多くの先生方が自分の研究に誇りを持ち、世界でまだ自分だけしか知らないという事実や想定していた結果が得られた時の爽快感に胸を躍らせて研究をされる姿に多くの刺激をいただきました。私自身も先生方のように楽しんでワクワクしながら研究に取り組みたいと思いました。これからたくさんの方に興味を持ち、知識を付けていきたいです。今回の授賞を励みに今後も研究発展に貢献できるよう、より一層精進してまいります。

**陣内亜由武(佐賀大学大学院 先進健康科学研究科)**

この度、令和6年度日本生化学会九州支部例会でポスター賞をいただき、大変嬉しく思っております。この受賞にあたり、選考委員の先生方並びにご指導ご鞭撻を頂戴した学会員の皆様に感謝申し上げます。また、日々の研究活動を支えてくれた家族や友人、研究室の仲間、そしてご指導ご鞭撻を賜りました光武進教授にこの場を借りて感謝申し上げます。私は、所属するラボで約2年間研究活動に励み、今回初めて学会に出場させていただきました。ポスター発表では、多くの研究者の方々に興味を持っていただき、様々な角度から貴重なご助言を頂戴することができました。また、特別講演やシンポジウムでは、偉大な先生方の講演を拝聴する中で研究者としての自分の未熟さを痛感し、これから自身の目指すべき研究者像を再認識することができました。本学会を通じて学んだことを活かし、自身も生化学の面白さを伝えられる研究者を目指し、精進して参りたいと思います。

**水流添健斗(九州大学システム生命学府)**

私にとって学会デビュー戦となった今回の日本生化学会九州支部例会は、「超」楽しい生化学に胸が高なる刺激的な経験となりました。シンポジウムでは、運動と細胞外小胞、運動と腸内細菌叢という、一見すると無縁の事象を繋げて研究を進めてらっしゃる先生方のお話が印象に残りました。主に培養細胞を用いて研究を行なっている私にとっては、異なる臓器の関係について考えることが新鮮であり、新たな着眼点を得ることができました。

ポスターセッションでは、他分野の先生方と意見を交換することができ、異なる視点やアプローチを得るとともに、そのような先生方と生化学という共通言語を介してディスカッションできることに感動を覚えました。今回、ポスター賞銀賞という形で研究を評価していただき、大変光栄に思います。今後も継続して学会に参加し、よりよい研究を発表できるよう精進します。

### 藤田仁(福岡工業大学大学院工学研究科 生命環境化学専攻)

令和 6 年度九州生化学会九州支部でポスター賞銀賞を受賞でき、大変光栄に思います。この研究は、共同研究者や指導教員の皆様のご指導と支えのおかげで実現しました。この賞をいただけたことは、私たちの努力が評価された証であり、非常に嬉しく思います。発表の場では多くの貴重なフィードバックやご意見をいただき、今後の研究に対する新たな視点を得ることができました。また、自身の知識不足や説明の不十分さなど、改善すべき点にも気づかされました。これからはさらに勉学と研究を深め、発展させるために一層努力を重ねてまいります。このような栄誉ある賞をいただき、改めて心より感謝申し上げます。

### 岩元史織(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 ゲノム創薬学研究室)

この度は、日本生化学会九州支部例会において、優秀ポスター賞(銀賞)を受賞することができ、大変嬉しく思います。例会長の澤智裕先生をはじめ、選考委員ならびに関係の先生方に心より御礼申し上げます。このような賞を頂けたことは、ご指導頂いております岩田教授や多くの先生方、研究にご協力していただいた共同研究者の方々のおかげです。また、研究を支えてくれる研究室の皆さんにも感謝申し上げます。今回の受賞を励みに、今後も研究に邁進する所存です。

